

2016 年度 海外協力・自然環境保全事業計画・報告 / 2017 年度 計画案

2016 年度 海外協力・自然環境保全事業 計画	2016 年度 海外協力・自然環境保全事業 報告	2017 年度 海外協力・自然環境保全事業 計画案
支援事業【インド】 担当：米山・島田・鈴木(インターン)	支援事業【インド】 担当：米山・島田・鈴木(インターン)	支援事業【インド】 担当：米山・インターン生 1 名(駐在員)
①環境保全ならびに有機農業推進 ・タミルナドゥ州トッパンパティ地区 2 か村での 3 年目事業（最終年） ・治水工事完了、有機農法研修と普及、植林 ・参加型有機農産物認証制度への参加農家 30, 計 60 農家	① 環境保全ならびに有機農業推進 事業名：有機農業推進の基盤整備事業 期間：2013 年、2015 年 3 月～2017 年 3 月 現地協力：CIRHEP（Centre for Improved Rural Health and Environmental Protection） 資金財源：外務省 NGO 連携無償資金協力 活動地域：タミルナドゥ州トッパンパティ地区デバトール、コタヤム村 活動背景：有機農業の知識・技術普及と有機農産物市場開拓、 農業生産性向上と農業労働者の所得向上 活動成果：30 名のモデル農家が有機農産物認証を取得。 治水工事により耕作面積が拡大。地下水位の上昇。 有機農産物の高値販売の実現。 活動課題：土壌検査では 2 年間の活動では科学的な結果は出ていない。 生産性向上、所得向上の明確な数値は示されなかった。 2017 年度以降も事業の経過観察を継続して実施。	① 環境保全ならびに有機農業指導 事業名：有機農業推進の基盤整備事業フォローアップ 期間：2017 年 4 月～2018 年 3 月 現地協力：CIRHEP（Centre for Improved Rural Health and Environmental Protection） 資金財源：自己財源 活動地域：タミルナドゥ州トッパンパティ地区デバトール、コタヤム村 活動計画：農業委員会の進捗、有機認証制度申請の進捗、土壌調査、 農業生産物のマーケティング進捗、定期的な報告月 1 回
②教育ローン、ヤギローン運営の安定化 ・教育ローン利用者：35 名、ヤギローン利用者 12 名	②教育ローン、ヤギローン運営の安定化 事業名：教育ローン支援事業 期間：継続的に 2016 年度も実施 現地協力：CIRHEP（Centre for Improved Rural Health and Environmental Protection） 資金財源：個人会員の指定寄付 活動地域：タミルナドゥ州、ニラコタイ地区 10 の SHG, のウタヤム連合、 スリ・ムタランマン SHG 活動背景：女性メンバー子弟の高等教育学費ローン、低金利での融資。 女性グループによる自主運営。 活動成果：返済率は約 100%。連合のグループでは 34 名、スリ・ムタランマンのグループでは 7 名が利用。 教育ローンや使い道自由なローンに需要あり。 活動課題：ウタヤム連合では原資支援を「自分たちのお金」との認識が不足。	② 教育ローン、ヤギローン運営の安定化 事業名：教育ローン支援事業 期間：2017 年 4 月～2018 年 3 月 現地協力：CIRHEP（Centre for Improved Rural Health and Environmental Protection） 資金財源：個人会員の指定寄付 活動地域：タミルナドゥ州、ニラコタイ地区 10 の SHG ウタヤム連合、 スリ・ムタランマン SHG 活動計画：ウタヤム連合・・・安定した運営<原資の支援はなし> スリ・ムタランマン・・・教育ローン原資の支援 定期的な活動のモニタリング

2016 年度インド活動報告[写真編]



有機農業事業の現場で働く島田駐在員（左から 3 人目）



事業地の流水域開発委員会メンバーがカルナータカ州にある NGO で研修



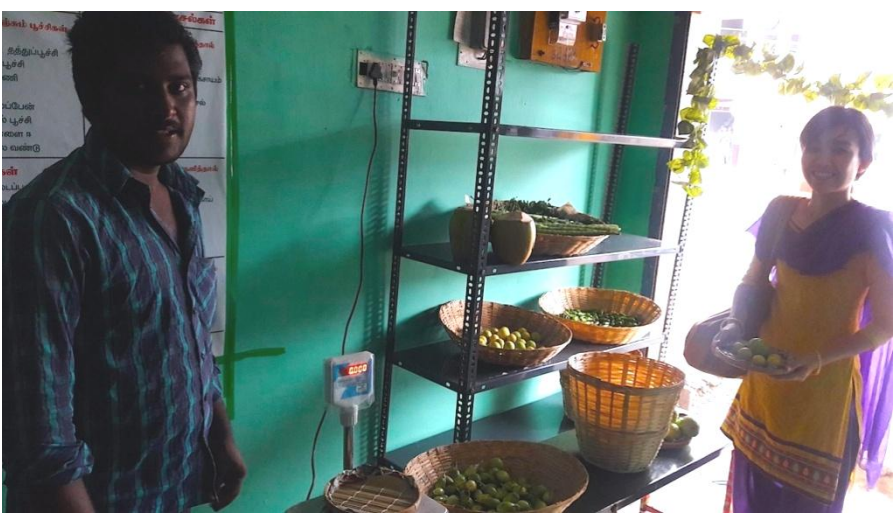
有機認証を取得した農家さんたち



2016 年度から始められたメーラッカル村せの縫製研修
50 名を対象におこなわれている



教育ローンの定期会議に集まったウタヤム連合のメンバー



町にある情報センターでは事業地で生産された有機野菜が売られている

支援事業【インドネシア】 担当：古賀・米山 ①スンバ島での有機農業推進 ・ユブワイ村にて野菜作り研修	支援事業【インドネシア】 担当：古賀・米山 ① スンバ島での有機農業推進 事業名：スンバ島農村部低所得者のための野菜作り技術指導 期間：2016 年 4 月～2016 年 9 月 現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティ財団（ラジオ MAX） 資金財源：日本労働組合総連合会 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県ユブワイ村 活動背景：就業機会のない農村部住民が野菜の栽培・販売で収入を得る。 活動成果：20 世帯 20 人が参加し、研修終了後は自立して有機肥料を作り有機野菜を栽培できるようになった。その後、研修を受講したメンバーが中心となり他の住民に野菜作りを広めている。 活動課題：販売ルートの開拓、農業協同組合の加入。	支援事業【インドネシア】 担当：古賀・米山 ① スンバ島での有機農業推進 事業名：低所得者層の生活向上のための有機野菜作り支援事業 期間：2017 年 1 月～2017 年 9 月 現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティ財団（ラジオ MAX） 資金財源：三井住友銀行ボランティア基金 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県ワイクドゥ村 活動計画：就業する機会のない農村部住人へ野菜栽培・販売で収入を得られるようにする。 研修受講希望者を募り 20 世帯 20 名を選ぶ。 研修内容：有機肥料の作成（家畜のフンと周辺の植物を利用）、有機防虫剤の作成（周辺の植物を利用）、育苗（苗ポットはバナナの葉で作成）、苗の畑への作付、作物の交配、野菜の世話等。 栽培する野菜：たまねぎ、白菜、唐辛子、キャベツ、ゴーヤ、すいか、インゲン、チンゲンサイ、トマト、きゅうり、じゃがいも、なす、ブロッコリー、ほうれんそう、空芯菜など
・ムバタプフ村にて井戸建設及び野菜作り研修	事業名：スンバ島農村部低所得者のための有機農業研修および井戸建設 期間：2016 年 4 月～2017 年 2 月 現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティ財団（ラジオ MAX） 資金財源：アジア生協協力基金 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県ムバタプフ村 活動背景：川のない村において就業の機会がない村人が野菜を栽培し販売する事によって収入を得る。 活動成果：井戸は建設中。野菜作り研修は進行中。 活動課題：事業期間内に事業が終了していない。	事業名：スンバ島農村部低所得者のための有機農業研修および井戸建設 期間：2017 年 4 月～2018 年 3 月 現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティ財団（ラジオ MAX） 資金財源：自己資金 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県ムバタプフ村 活動計画：研修は、雨季の間に雨水を利用して進め終了する。井戸建設は雨季の間は中止。雨季が完全に終了する 5 月頃再開予定。井戸の完成後は降雨に左右されることなく野菜作りを行う。

②スンバ島での植林推進 ・沿岸地域にて環境保全と漁獲量向上のためのマングローブ植林 ・内陸部では、所得向上を目指したカカオ、バナナ、白檀の植林	② スンバ島での植林推進 事業名：環境保全および住民の所得向上のための植林事業 期間：2016 年 8 月～2017 年 6 月 現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティ財団（ラジオ MAX） 資金財源：緑の募金 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県カル村 活動背景：マングローブや森林の減少を抑え、緑化を進める必要があった。海岸住民の漁獲量を向上させ収入を増やす。複数の果樹を植林し住民の所得を向上させる。 活動成果：沿岸部にある教会の日曜学校の人たちが中心となり海岸にマングローブの苗木約 3,000 本を植林し管理している。内陸部には白檀、バナナ、びんろうをそれぞれ約 2,000 本植林、各村の住人が管理。 活動課題：植林後の手入れ。	② スンバ島での植林推進 事業名：緑化推進のためのマングローブ植林事業 期間：2017 年 8 月～2018 年 6 月 現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティ財団（ラジオ MAX） 資金財源：緑の募金 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県カル村 活動計画：沿岸部の環境保全のため教会の日曜学校が中心となりマングローブをおよそ 3,000 本植林する。
③スンバ島での給水機器開発	③ スンバ島での給水機器開発 事業名：深井戸用手動ポンプの設置 期間：2016 年 4 月～2017 年 3 月 現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティ財団（ラジオ MAX） 資金財源：日本労働組合総連合会 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県 活動背景：地下約 40 メートルの井戸からロープを手繰って水を汲むのは重労働である。インドには深井戸用のポンプがあるためインドから輸入。 活動成果：インドから輸出したポンプはインドネシアに到着した。今後井戸に設置する。 活動課題：インドネシアに輸入することが困難で、時間がかかった。	③ スンバ島農村部の子ども支援 事業名：東スンバ県農村部の子どもの教育環境改善事業 期間：2017 年 4 月～2018 年 3 月 現地協力：インドネシア・スンバ島東スンバ県農村部 資金財源：日本労働組合総連合会 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県 活動計画：低所得者層家庭で通学用バッグを購入できない子どもたちに学力向上・通学意欲の継続を目的として中部ジャワの女性グループが生活水準向上を目的にして作成したバッグを配付する。試作品をいくつか作成し、スンバ島で検討し確定する。今年度は約 2,000 個作成予定。来年度以降毎年 5,000 個ずつ継続して作成する予定。

インドネシアの地図



東ヌサトゥンガラ州
スンバ島

スンバ島の地図



東スンバ県

ムバタプフ村・・・井戸建設および野菜作り研修

村に川がないので、現在は徒歩で往復 5 時間かけて水を汲みに行っています。



建設中の井戸



研修の様子



井戸が完成したらもっと野菜を
作れるので楽しみです。

カル村・・・環境保全と生活向上のための植林事業



マングローブの植林



バナナの苗木を運ぶ



小学生もお手伝い

ユブワイ村・・・野菜作り研修



苗のポットはバナナの葉



研修を受講して有機肥料や有機防虫剤を作れるようになりました。



2016 年度 海外交流事業 計画・報告 ／ 2017 年度 計画案

2016 年度 海外交流事業 計画	2016 年度 海外交流事業 報告	2017 年度 海外交流事業 計画案
海外交流事業【インド】 担当：米山・古賀 ／ 現地コーディネート：島田・鈴木(インターン) ・スタディツアーの開催（8 月、2 月、2 回） ・ソーシャル・ビジネスツアーの開催（9 月、1 回）	海外交流事業【インド】 担当：米山・古賀 ／ 現地コーディネート：島田・鈴木(インターン) ①南インドスタディツアー 期間：2016 年 9 月 2 日～6 日（5 日間） 参加者：慶応大学 学生団体「SAL」有志グループ 9 名 内容：CIRHEP、教育ローン女性グループ、SALT 縫製技能研修の視察訪問、ココナッツロープづくり見学、ホームステイ 地域：ディンディグル市内および郊外、マドライ地区 NGO の事業地 成果：ツアーでの学びを団体で作成している情報誌に掲載。 旅行の危機管理やコーディネートの難しさを実感して頂いた。	海外交流事業【インド】 担当：米山・古賀 ／ 現地コーディネート：米山 ・春ツアーを開催する予定 インド赴任が 6 月となるため、夏ツアー開催が不確定であるため

2016 年度 海外事業 報告【海外交流事業 インド資料】



NGO=SALT で縫製技能研修を受けている女性グループを訪問、懇談をしたツアー参加者



ツアー参加者はホームステイを体験、別れを惜しむ参加者



ツアー中、結婚式があり、初めて経験するインドの結婚式で招待され食事に興奮する参加者

海外交流事業【インドネシア】

- ・2016 年度計画なし。
- ・インド春ツアーの催行を中止したためインドネシアにて実施。

海外交流事業【インドネシア】

担当：米山・古賀 ／ 現地コーディネート：古賀

②スンバ島やし砂糖スタディツアー

期間：2017 年 3 月 7 日～11 日（5 日間）

参加者：一般応募および既存会員 9 人

内容：ロンタル椰子からやし砂糖の作成、やし砂糖を使ったお菓子作成。

スンバ島の伝統家屋が残る村を訪問。

伝統文化イカット（スンバ絣）や舞踊を鑑賞。

地域：スンバ島東スンバ県

成果：日本人がスンバ島の伝統の食品について知識を深めた。

村の人たちとのやし砂糖を通じた交流を楽しんだ。

③植林ワークキャンプ

期間：2017 年 3 月 10 日～14 日（5 日間）

内容：海岸でのマングローブの植林。内陸部での果樹や建材樹木の植林。

スンバ島の伝統家屋が残る村を訪問。

伝統文化イカット（スンバ絣）や舞踊を鑑賞。

地域：スンバ島東スンバ県

成果：およそ 4 ヘクタールの海岸にマングローブを植林。

内陸部およそ 2 ヘクタールに果樹等を植林。

日本人と村の人たちが協力して植林をした。

海外交流事業【インドネシア】

- ・2017 年度計画なし。

作成チラシ

ミライのトビラへ
自分が変わる旅に出よう!

2016年夏 インドツアー 参加者募集!!

女性のエンパワメントを考える旅in南インド

期 間：2016年8月19日(金)～28日(日) 10日間
研修地：チェンナイ、ディンディグル、マドゥライ、イデュー

ソーシャルビジネスの現場を訪れる旅in北・西インド

期 間：2016年9月2日(金)～11日(日) 10日間
研修地：ニューデリー、アグラ、ジャイプール、デリー

スタディーツアーを企画して25年
特定非営利活動法人 地球の友と歩む会・LIFE (現地プログラム企画)

〒105-0071 東京都港区赤坂2-2-2 東急三軒茶屋4502
TEL 03-3281-7855 FAX 03-3281-9053
E-MAIL life@earth-life.jp URL http://earth-life.jp/ 担当：米山 古賀
1000名を超えて活動中。 「水・人・緑」をキーワードに、インド・インドネシアで国際協力活動を行うNPOです。

インド農村部の女性が抱える問題を探ろう! 女性のエンパワメントを考える旅 in 南インド

2016年8月19日(金)～28日(日) 10日の旅
場 所：チェンナイ、ディンディグル、マドゥライ、イデュー
参加費：190,000円(別途食費6,000円)
締 切：2016年7月11日(月)
定 員：10名(最少催行人数：6名)

●インドの農村部で活動するNGOを訪問する旅です。
●NGOの活動やその成果を学ぶことで、インド農村部の女性が置かれている状況や、その成果から、女性のエンパワメントとは何かを考えます。
●農村部の女性と交流し、彼女たちのエンパワメントを妨げる問題について考えます。

日程	場所/交通機関	研修地	スケジュール	宿泊地	食事
8/19	チェンナイ(空路)	南	インド・チェンナイ到着・集合場所 日本人研修者集合とオリエンテーション	チェンナイ	—
8/20	チェンナイ(空路)	午後 午後	チェンナイ到着・集合場所 研修者集合とオリエンテーション	チェンナイ	朝/昼/夜
8/21	ディンディグル(空路)	午後 午後	ディンディグルへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ディンディグル	朝/昼/夜
8/22	ディンディグル(空路)	午後 午後	ディンディグルへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ディンディグル	朝/昼/夜
8/23	ディンディグル(空路)	午後 午後	ディンディグルへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ディンディグル	朝/昼/夜
8/24	ディンディグル(空路)	午後 午後	ディンディグルへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ディンディグル	朝/昼/夜
8/25	ディンディグル(空路)	午後 午後	ディンディグルへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ディンディグル	朝/昼/夜
8/26	ディンディグル(空路)	午後 午後	ディンディグルへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ディンディグル	朝/昼/夜
8/27	ディンディグル(空路)	午後 午後	ディンディグルへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ディンディグル	朝/昼/夜
8/28	ディンディグル(空路)	午後 午後	ディンディグルへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ディンディグル	朝/昼/夜

ソーシャルビジネスの現場を訪れる旅in北・西インド

2016年9月2日(金)～11日(日) 10日の旅
場 所：ニューデリー、アグラ、ジャイプール、デリー
参加費：140,000円(別途食費6,000円)
締 切：2016年7月19日(火)
定 員：12名(最少催行人数：8名)

●様々なソーシャルビジネスを行う組織を訪問し、ソーシャルビジネスの持つ可能性について学びます。
●現地協力団体：インドの旅行会社 Chilli India は「ソーシャル・ツーリズム・カンパニー」で、社会問題を学ぶためのツアーを企画・サポートしています。
●インドを代表する観光地ポイント、タージ・マハル訪問です。

日程	場所/交通機関	研修地	スケジュール	宿泊地	食事
9/2	ニューデリー(空路)	南	インド・ニューデリー到着・集合場所 日本人研修者集合とオリエンテーション	ニューデリー	夜
9/3	ニューデリー(空路)	午後 午後	ニューデリー到着・集合場所 研修者集合とオリエンテーション	ニューデリー	朝/昼/夜
9/4	ジャイプール(空路)	午後 午後	ジャイプールへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ジャイプール	朝/昼/夜
9/5	ジャイプール(空路)	午後 午後	ジャイプールへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ジャイプール	朝/昼/夜
9/6	ジャイプール(空路)	午後 午後	ジャイプールへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ジャイプール	朝/昼/夜
9/7	ジャイプール(空路)	午後 午後	ジャイプールへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ジャイプール	朝/昼/夜
9/8	ジャイプール(空路)	午後 午後	ジャイプールへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ジャイプール	朝/昼/夜
9/9	ジャイプール(空路)	午後 午後	ジャイプールへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ジャイプール	朝/昼/夜
9/10	ジャイプール(空路)	午後 午後	ジャイプールへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ジャイプール	朝/昼/夜
9/11	ジャイプール(空路)	午後 午後	ジャイプールへ移動 農村部の女性と交流するNGOを訪問	ジャイプール	朝/昼/夜

2017年春インドネシアスンバ島
やし砂糖とお菓子を作ろう!!
やし砂糖スタディーツアー
2017年3月7日(火)～11日(土) 5日の旅

参加者募集中!!
※バリ島集合・解散

マンクローフ、カカオ、白檀を植えよう!!
植林ワークキャンプ
2017年3月10日(金)～14日(火) 5日の旅

参加者募集中!!
※バリ島集合・解散

インドネシア・スンバ島でやし砂糖を作ろう!!
やし砂糖スタディーツアー

2017年3月7日(火)～11日(土) 5日の旅
場 所：東ヌサトゥンガラ州東スンバ県
旅行代金：90,000円(別途食費6,000円)
申込締切：2017年1月10日(火)
定 員：10名(最少催行人数：6名)
※砂糖作りツアーにも参加の場合は、プラス20,000円。

●スンバ(島)ではやしから砂糖を作り栄養補給をしています。
●スンバ(島)のお母さんやし砂糖作りやし砂糖のお菓子を作ります。
●やしの種類は、ロンタル椰子です。
●伝統舞踊や伝統家屋、イカット(伝統織物)製作現場も見学します。
●民家にホームステイもできますので、ご相談ください。

スケジュール(予定)

日程	場所/交通機関	時間帯	スケジュール	宿泊都市	食事
3/7	デンパサール/ー	夕刻	18:30ホテルに集合	デンパサール	夜
3/8	デンパサール/ー	午前	スンバ島へ移動	デンパサール	朝/昼/夜
3/9	ウィンガッパ/ー	午前	自由時間・休憩	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/10	ウィンガッパ/ー	午後	ヤシ砂糖作り	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/11	ウィンガッパ/ー	午後	イカット製作現場訪問	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/12	ウィンガッパ/ー	午後	ヤシ砂糖を使ったお菓子作り	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/13	ウィンガッパ/ー	午後	伝統村、伝統舞踊見学	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/14	ウィンガッパ/ー	午後	町の市場散策	ー	朝/昼/夜
3/15	ウィンガッパ/ー	午後	バリ島デンパサール空港へ移動 →15:30解散	ー	朝/昼/夜

インドネシア・スンバ島で植林をしよう!!
植林ワークキャンプ

2017年3月10日(金)～14日(火) 5日の旅
場 所：東ヌサトゥンガラ州東スンバ県
旅行代金：90,000円(別途食費6,000円)
申込締切：2017年1月10日(火)
定 員：10名(最少催行人数：6名)
※砂糖作りツアーにも参加の場合は、プラス20,000円。

●スンバ(島)ではやしから砂糖を作り栄養補給をしています。
●スンバ(島)のお母さんやし砂糖作りやし砂糖のお菓子を作ります。
●やしの種類は、ロンタル椰子です。
●伝統舞踊や伝統家屋、イカット(伝統織物)製作現場も見学します。
●民家にホームステイもできますので、ご相談ください。

スケジュール(予定)

日程	場所/交通機関	時間帯	スケジュール	宿泊都市	食事
3/10	デンパサール/ー	夕刻	18:30ホテルに集合	デンパサール	夜
3/11	デンパサール/ー	午前	スンバ島へ移動	デンパサール	朝/昼/夜
3/12	ウィンガッパ/ー	午前	自由時間・休憩	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/13	ウィンガッパ/ー	午後	ヤシ砂糖作り	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/14	ウィンガッパ/ー	午後	イカット製作現場訪問	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/15	ウィンガッパ/ー	午後	ヤシ砂糖を使ったお菓子作り	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/16	ウィンガッパ/ー	午後	伝統村、伝統舞踊見学	ウィンガッパ	朝/昼/夜
3/17	ウィンガッパ/ー	午後	町の市場散策	ー	朝/昼/夜
3/18	ウィンガッパ/ー	午後	バリ島デンパサール空港へ移動 →15:30解散	ー	朝/昼/夜

2016 年度 海外事業 報告【海外交流事業 インドネシア資料】

事前研修会

2017 年 1 月 28 日 (土)



やし砂糖スタディツアー

2017 年 3 月 7 日～11 日 (5 日間)



植林ワークキャンプ

2017 年 3 月 10 日～14 日 (5 日間)



スンバ島の伝統を見学



報告会

2017 年 3 月 26 日 (日)



2016 年度 国際理解促進・市民活動推進事業 計画	2016 年度 国際理解促進・市民活動推進事業 報告	2017 年度 国際理解促進・市民活動推進事業 計画案
支援者拡大および国際理解教育活動 ①企業、大学との連携 ・ 物品収集活動の企業の拡大（10 社） ・ 大学での開発現場の紹介（5 大学） ・ NGO, 企業ネットワークを活用して企業へ連携協力（5 社） ②国際協力・啓発講演会の実施 ③学習会・講座の企画・開催 ・ インド、デバトール事業の成果と課題報告会 ・ 開発現場でのフィールド調査入門講座の開催	支援者拡大および国際理解教育活動 ① 企業、大学、との連携 ・ 物品寄付の協力 企業 29 社、12 団体、個人 83 名 ・ アジアン家具販売のカリッジマーケットよりインドネシア指定寄付（毎月） ・ 大学で研修・講演・講義の実施＜講師：米山＞ 長崎外国語大学、専修大学経済学部、北海道教育大学・旭川校、北海道教育大学・函館校の計 4 回 ・ NGO, 企業ネットワークを活用して企業へ連携協力（5 社） ネットワーク登録（会費 5, 000 円）および交流会へ参加 ② 自治体国際化協会との連携 講演会の実施＜講師：米山＞ 石川県金沢市、三重県津市、埼玉県越谷市、東京都西東京市、神奈川県松田町にて実施 計 5 回 テーマ＜多文化共生社会＞ 東京都国分寺市にて実施 計 1 回テーマ＜インドの文化紹介＞ ③学習会・講座の企画・開催 ・ 事業地報告および課題報告会は運営委員会での告知に留まる ・ 東京女学館中学校生徒 6 名受入。テーマ「国際社会と人類の課題」でインド、インドネシアでの活動紹介。生徒が用意した課題に回答。（2 月 2 日） 学内発表（2 月 22 日）	支援者拡大および国際理解教育活動 ①物品寄付の拡大 ・ 物品寄付の協力 企業・団体 50 団体 個人 90 名を目標 ・ 大学で研修・講演・講義の実施 講師役の米山が不在となるため、実施未定 ・ NGO, 企業ネットワークを活用して企業へ連携協力（1 社） ネットワーク登録および交流会への参加 ②自治体国際化協会との連携 講演会の実施＜講師：米山＞ 登録者および講演スキルがある米山が不在となるため実施未定 ③学習会・講座の企画・開催 ・ 事業地報告および課題報告会の外部への積極的広告 ・ 修学旅行生 訪問学習は、受入経験のある米山が不在となるため実施未定

④ボランティアセンターとのネットワーキング ・大学ボランティアセンターとの協働（5 大学） ・東京 V C、ちよだ V C との共同プログラムの開催 ⑤スタディツアー研究会との協働 ・ホームページの充実による情報発信 ・NGO 担当者向け危機管理研修の開催 ・大学生向けスタディツアー危機管理研修の開催 ⑥他団体主催のイベントへ出展 ・	④ボランティアセンターとのネットワーキング ・大学ボランティアセンターとの協働 龍谷大学、立教大学、法政大各、中央大学、青山学院大学、 明治学院大学、フェリス女学院大学に情報提供 ・自治体のボランティアセンターとの協働 ちよだボランティアセンター、東京ボランティアセンターへ情報提供、 広報スキルアップ研修参加（新宿 NPO 協働推進センター主催）、 広報用ツール助成金（ちよだボランティアセンター） 公認会計士の紹介、依頼組織マネジメント研修参加 （東京ボランティアセンター） ⑤スタディツアー研究会との協働 「実践的スタディツアー学」発刊 10 月 1 日 ⑥他団体主催のイベントへ出展 ・グローバルフェスタ JAPAN2016 （10 月 1 日～2 日 お台場） 主催：外務省、国際協力機構、国際協力 NGO センター 内容：活動紹介、物品飲食販売 ・暁星学園中学高等学校文化祭（10 月 1 日～2 日 飯田橋） 主催：暁星学園 内容：ボランティアクラブの生徒による LIFE が仕入れた物品等の販売 ・ふれあい満点市場（2 月 11 日 飯田橋） 主催：東京ボランティアセンター 内容：活動紹介、物品販売 ・その他イベント出展の検討 アースディ、ナマステインディア、インドネシアフェスタは、既存参加イ ベントの 2～4 倍程度の諸経費となる。飲食もオーガニック素材使用必須、 飲食店営業許可証がなければ出展不可などの制約もあり。 現状では出展しても大幅赤字。	④ボランティアセンターとのネットワーキング ・大学ボランティアセンターへの情報提供（7 大学） ・自治体のボランティアセンターとの協働 ちよだボランティアセンター、東京ボランティアセンターへ情報提供、 各種研修や相談会へ参加、助成金等の申請。 ⑤スタディツアー研究会との協働 事務局機能を分散、主に広報、冊子販売を他メンバーと連携して実施 ⑥他団体主催のイベントへ出展 ・グローバルフェスタ JAPAN2017 主催：外務省、国際協力機構、国際協力 NGO センター 内容：活動紹介、物品飲食販売 ・暁星学園中学高等学校文化祭 主催：暁星学園 内容：ボランティアクラブの生徒による LIFE が仕入れた物品等の販売 ・ふれあい満点市場 主催：東京ボランティアセンター 内容：活動紹介、物品販売 ・その他イベント出展への検討
--	--	--



切手仕分け体験中の受入れ生徒たち



イベントに出す飲食の試食会の様子



グローバルフェスタでは、カラフルなインドのお煎餅パッドと、インド風紅茶チャイ・マサラを提供。

269 団体の参加、述べ 10 万人が来場しました。

スタディツアー研究会 知識と経験の集大成

業界初 **スタディツアーのマニュアル本**

実践的！スタディツアー学

ーNGOスタディツアーの考え方と作り方ー
スタディツアー研究会 編

**実践的！
スタディツアー学**

ーNGOスタディツアーの考え方と作り方ー
スタディツアー研究会 編



A5版 120頁 定価1,000円

スタディツアー研究会20年の経験より
開発教育・旅行業法から安全管理・広報まで
NGOスタディツアーを包括的に解説

この冊子はスタディツアーをいかに効果あるもの
にしていくかに焦点を当て、これまでのスタディツアー
研究会の蓄積を基に多角的な観点からまとめた
ものです。この本を読んでスタディツアーに関する
体系的・包括的な知識を得て、実務に役立ててくだ
さい。

スタディツアー研究会とは・・・

NGOの運営するスタディツアー・ワークキャンプの
向上を目指し、NGO担当者へ広報、企画運営能力
の向上や安全管理に関する研修を実施しています。
また、ツアー参加
希望の方には
NGOがツアーの
紹介や相談に応じ
る合同説明会を開
催しています。

スタディツアー
やワークキャンプ
のガイドとなるサイト「PASSPORT」も情報が盛りだく
さんです。http://ngo-studytour.jp/

<購入方法>

お電話・メール・FAXで

電話：03-3261-7855

Fax：03-3261-9053

Email：starken1997@yahoo.co.jp

スタディツアー研究会所在地：

〒102-0071

東京都千代田区富士見2-2-2

東京三和ビル503号

NPO法人 地球の友と歩む会(LIFE)内

URL: http://starken1997.jimdo.com/

スタディーツアーに関する実践的かつ実務的な本を作成

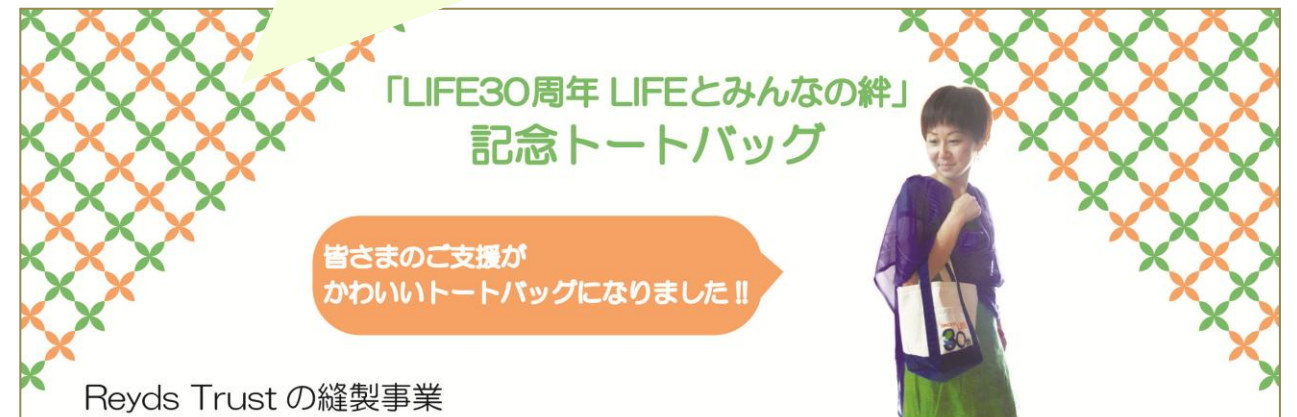
2016 年度 会員相互の啓発・交流促進事業 計画・報告 / 2017 年度 計画案

2016 年度 会員相互の啓発・交流促進事業 計画	2016 年度 会員相互の啓発・交流促進事業 報告	2017 年度 会員相互の啓発・交流促進事業 計画案
①年次総会の開催 ・5 月 28 日開催、30 周年記念事業と併せて開催 ②各種委員会の充実 ・定期的な開催により活動の活発化を図る ③広報 ・会報「みらいの樹」の発行 ・メルマガの定期発信 ・イベント、海外スタディツアー告知を配信 ・ホームページのリニューアル。不要な情報を省く。スマホ対応。 ・ブログやフェイスブックで事業地の様子を随時報告	①年次総会の開催 ・5 月 28 日（土）14：00～15：00 見樹院（東京都文京区小石川 3 丁目 4 番 1 4 号）で実施 30 周年記念事業「LIFE30 周年 LIFE とみんなの絆」と併せて実施。 記念行事は有志ボランティアと職員合わせて 12 名で準備 ②各種委員会の充実 ・運営委員会の開催 4/12（火）、5/12（木）、6/13（月）、7/22（金）、9/10（土）、11/2（水）、3/26（日）の計 7 回の実施 参加者は職員をいれて平均 7 人程度 ③広報 ・会報「みらいの樹」69～72 号 計 4 回発行 ・メルマガ 10 回発信 ・イベント・ツアー開催告知をチラシ作成。情報サイトへ掲載。 東京ボランティアセンター：広告とネット掲載 ちよだボランティアセンター：広告とネット掲載 ボランティアデータベースサイト「ACTiVO」 認定 NPO 法人国際協力 N G O センター（JANIC）の「NGO 掲示板」 独立行政法人国際協力機構（JICA）のネット掲載「PARTNER」 スタディーツアー研究会サイトへネット掲載 LIFE 公式ページおよび会報発送時にチラシ広告 ・ホームページのリニューアル完了。スマホ対応可能となった ・ブログ更新 61 回更新（昨年度は 52 回）、facebook 更新は約 200 回	①年次総会の開催 ・5 月 20 日（土）に開催予定。 ②各種委員会の充実 ・2～3 カ月に 1 回、定期的な開催により活動の活発化を図る 運営委員会は 4/19（水）実施予定 ・運営委員会開催日を公開化し、より活発化させる ③広報 ・会報「みらいの樹」73～76 号 計 4 回発行予定 ・メルマガを月 1 回配信 ・イベント情報のチラシ作成とネット掲載 東京ボランティアセンター：広告とネット掲載 ちよだボランティアセンター：広告とネット掲載 ボランティアデータベースサイト「ACTiVO」 認定 NPO 法人国際協力 N G O センター（JANIC）の「NGO 掲示板」 独立行政法人国際協力機構（JICA）のネット掲載「PARTNER」 スタディーツアー研究会サイトへネット掲載 社会人やプロボランティア募集サイト「もんじゅ」活用 Facebook、グーグルの NPO 広告枠の活用 ・ブログ更新 70 回目標、facebook は積極的にイベントグループへ掲載

会員総会および 30 周年記念行事「LIFE30 周年 LIFE とみんなの絆」の開催様子



30 周年記念トートバッグをインド事業地の女性達が作成！



Reyds Trust の縫製事業

インドの農村部では、女性が村の外に出て働くことにあまり良いイメージがありません。また、女性自身も家事や子供の世話があるため、可能であれば村の中で働くことを希望します。村の中の仕事と言えば農業労働が代表的なものです。これは季節雇用であり、また天候に左右されるため非常に不安定な収入源です。

こうしたことから、Reyds Trust は「インドの村の女性たちに、村の中で安定した収入源を提供したい！」と考えるようになりました。そこで、まずは村の女性たちにミシンの使い方の研修を行いました。LIFE も、2011 年からこのミシン研修事業を支援してきました。当時、Reyds Trust は、縫製研修を終えた女性たちがミシンを購入して自営のテ일러として働く、というストーリーを期待していました。しかし、定期的な注文がなかったり、逆に注文が集中してこなせなかったり、と自営でテ일러として働くことが難しい女性も多かったようです。そこで、Reyds Trust はあらためて、村の中に縫製工場をつくって女性たちを雇用することを考えました。

こうした経緯で、2013 年には Maha Sakti Garments が設立されました。現在、8 名がテ일러、2 名が裁断係、3 名が品質管理係、として雇われています。また、12 の会社から下請けの縫製注文を取り付け、Tamil Nadu 州の州政府から中小企業の認定も受けています。給与は出来高制であるため、個人によって、時期によって異なりますが、一日 250 ～ 400Rs（約 425 ～ 680 円）は稼げるようです。

縫製工場で働くようになった女性たちは、村の中で収入を得られるようになりました。しかし、縫製工場の影響はそればかりではありません。ある女性は、夫によるドメスティックバイオレンスに悩んでいましたが、彼女が縫製工場で稼いでくることに感化されて夫もまじめに働くようになりドメスティックバイオレンスがなくなった、という経験をしました。また別の女性は、縫製工場の給料でガスを購入して料理するようになり、料理用のマキ集めやマキでの調理による煙の悪影響から解放された、と喜んでいます。さらに、縫製工場で自分の収入を得たことで、うまくいっていなかった夫と思い切って離婚して独りで自活している、という女性もいます。

このように、Maha Sakti Garments は不安定な収入という問題を解決するばかりではなく、インドの村の女性が抱える様々な問題を改善することにも役立っています。



2016 年度 組織強化 計画・報告 / 2017 年度 計画案

2016 年度 組織強化 計画	2016 年度 組織強化 計画	2017 年度 計画案
会員・ボランティア獲得 ①会員数目標 ・正会員（個人 40 名、3 団体） 賛助会員 70 名 ・募金キャンペーンに合わせたの会員募集 ・30 周年記念事業に併せての会員募集 ・寄付協力者から会員への勧誘 ②会員ボランティア活動の強化 ・30 周年記念事業開催を契機に会員活動促進 ・定期イベントへの参加案内＜花見、グロフェス、田植、稲刈＞ ・寄付切手の価値を高める「切手仕分隊」の活動 ・ボランティアおよびインターンの受入れ	会員・ボランティア獲得 ①会員数 ・正会員（27→36 名 1→2 団体 計 39 名）、賛助会員 55→72 名 ・30 周年記念行事にて正会員 3 名、賛助会員 1 名獲得 ・会員継続願いを発行し、会費期限を過ぎていた元会員が復帰 ・会員交流に参加していた非会員を正会員として 1 名獲得 ・ツアー参加による賛助会員 5 名獲得 ・全体として 17 名の増加 ・生活変化による会員辞退もあり ②会員ボランティア活動 ・30 周年記念事業は職員も含めて 42 名参加 ・さんまで、ただ呑む会（偶数月に実施） ・交流と親睦を深める花見 4 月 2 日（飯田橋） ・農に親しむ田植えや稲刈り 5 月 7 日 9 月 17 日（友部） ・交流と親睦を深める花火大会 8 月 6 日（市川） ・グローバルフェスタへ出展 10 月 1 日～2 日（お台場） ・現地の食事を楽しむスパイシーサロンの復活（5 月 28 日、1 月 28 日） ・切手仕分隊は個人 2 名、7 団体が参加。未使用切手 152,915 円、レア切手 13,240 円を発見。 ・国内インターンの参加 0 名、海外インターン 1 名は 2016 年度で任期終了。ボランティアは個人 17 名、2 団体が参加した。	会員・ボランティア獲得 ①会員数目標 ・正会員（個人 40 名、3 団体） 賛助会員 80 名 ・募金キャンペーンに合わせたの会員募集 ・会員交流に参加する非会員、寄付協力者を勧誘 ・ツアー参加による賛助会員獲得 ・旧ツアー参加者の会員継続のお願い ②会員ボランティア活動の強化 ・会員総会後に交流会の実施 ・居酒屋さんまで、ただ呑む会（2～3 カ月実施予定） ・交流と親睦を深める花見 ・農に親しむ田植えや稲刈り ・交流と親睦を深める花火大会 ・グローバルフェスタへ出展 ・現地の食事を楽しむスパイシーサロン ・寄付切手の価値を高める「切手仕分隊」の活動 ・ボランティアおよびインターンの受入れ

募金寄付金 ①ひまわり募金(募集期間：６月～８月) ・目標金額 50 万円 ②クリスマス年末募金(募集期間：11 月～３月) ・目標金額 200 万円 ③マンスリーサポーターの勧誘 ・会員にはならず定期的に寄付を行えるマンスリーサポーターの周知や告知をＨＰ、会報、各種イベントで勧誘 ③ 物品寄付(2004 年より開始) ・ＨＰでの告知、会報発送時に物品寄付受付の告知を行う ・使用済切手、未使用切手、郵便ハガキ、金券、きしゃぽん古本募金の寄付受付を継続	募金寄付金 ①ひまわり募金(募集期間：７月～９月) ・獲得金額 218,441 円 （目標金額まで一約 30 万円） ②クリスマス年末募金(募集期間：11 月～３月) ・獲得金額 996,708 円（目標金額まで一約 100 万円） ③マンスリーサポーターの勧誘 ・マンスリーサポーター 30 周年記念行事をきっかけに２名追加 ・１名脱退し、全体で５名参加（会費の月賦支払を除く） ④物品寄付(2004 年より開始) ・ＨＰでの告知、会報発送時に物品寄付受付の告知を行った ・未使用切手寄付 119,713 円 ・切手整理で発見し未使用切手 152,915 円 ・使用済切手寄付 約 100 kg 87,731 円 ・レア切手寄付 13,240 円（換金額） ・郵便ハガキ寄付 約 3,000 枚 200,352 円（切手換金額） ・その他金券寄付 11,652 円 ・その他 文房具等の物品寄付 段ボール 1 箱 ⑤その他寄付 ・無指定寄付（キャンペーン募金期間除く）32,131 円 ・インド指定寄付 10 名 75,000 円 ・インド教育ローン指定寄付 1 名 300,000 円 ・インドネシア指定寄付 21 名 789,963 円（会社からの大口寄付含む） ・植林給水指定寄付 9 名 96,500 円 ・きしゃぽん古本募金 22 名 26,323 円	募金寄付金 ①ひまわり募金(募集期間：６月～８月) ・目標金額 30 万円 ②クリスマス年末募金(募集期間：11 月～３月) ・目標金額 150 万円 ③マンスリーサポーターの勧誘 ・会員にはならず定期的に寄付を行えるマンスリーサポーターの周知や告知をＨＰ、会報、各種イベントで勧誘 ④物品寄付(2004 年より開始) ・ＨＰでの告知、会報発送時に物品寄付受付の告知を行う ・未使用切手寄付 200,000 円 ・切手整理で発見し未使用切手 100,000 円 ・使用済切手寄付 100,000 円（レア切手換金含む） ・郵便ハガキ寄付約 3,000 枚 200,000 円（切手換金額） ・その他金券寄付 50,000 円 ・その他 物品寄付 適宜募集 ⑤その他寄付 ・無指定寄付（キャンペーン募金期間除く）40,000 円 ・インド指定寄付 15 名 90,000 円 ・インド教育ローン指定寄付 1 名 300,000 円 ・インドネシア指定寄付 25 名 900,000 円（会社からの大口寄付含む） ・植林給水指定寄付 15 名 150,000 円 ・きしゃぽん古本募金 25 名 30,000 円
--	--	--

資金調達方法 ①自動引落の利用会社の変更 ・ワイドネットの事務手数料が高額なため、別会社へ変更検討 ・ゆうちょ銀行による自動引落の再開 ②インターネット募金の利用 ・GiveOne（運営：特定非営利活動法人パブリックリソース財団） ※追記 2014 年度 1 月より公益財団法人に変更 ・NGO アリーナ（運営：特定非営利活動法人環境アリーナ研究機構） ・NGO サポート募金（運営：特定非営利活動法人国際協力 NGO センター） ・イーココロ！（運営：ユナイテッドピープル株式会社） ③認定 NPO 法人取得 ・申請に向けて諸規定の検討を図り、提出書類の整備をする ⑤通信機器、情報・受信機器環境整備 ・WindowsXP、Vista 3 台の処分、買い替えまたは処分検討 ・Windows7 の 10 への無料更新の検討 ・会員管理ソフトが Windows7 に未対応のため新規ソフト検討	資金調達方法 ①自動引落の利用会社の変更 ・新しい集金会社（口座自動振り込み）へ移行 7 名 ・ゆうちょ銀行による自動引落へ移行 10 名 ・手数料の高い集金会社に未移行者 13 名（うち転居先不明 5 名） ②インターネット募金の利用 ・GiveOne（運営：特定非営利活動法人パブリックリソース財団） クレジットカードによる入金が可能のため、現金または預金経由以外の募金方法として継続していきたい ・NGO アリーナ（運営：特定非営利活動法人環境アリーナ研究機構） 寄付金額が低いため 2016 年度 7 月で当法人は終了との通達 ・NGO サポート募金（運営：特定非営利活動法人国際協力 NGO センター） 寄付金額が低いため募金サイト自体が 2016 年度 3 月で閉鎖。 2016 年度 12 月～3 月分は 7 月に募金サイト登録団体へ割賦される予定。 ・イーココロ！（運営：ユナイテッドピープル株式会社） 2014 年度 3 月までで終了。 ③認定 NPO 法人取得 ・公認会計士による会計整備 社会保険労務士による職務規定や労務関係の整備が必要 ⑤通信機器、情報・受信機器環境整備 ・WindowsXP を 10 に PC リユースボランティア団体に変更してもらった、Vista 2 台は同団体へ寄付。 ・Windows7 の 10 への無料更新は行わなかった （専用ソフトの存在や職員の知識レベルが低いため行わなかった） ・会計ソフトを更新。勘定科目等の入力作業完了。 ・会員管理ソフトの変更を行えなかった	資金調達方法 ①自動引落の利用会社の変更 ・新しい集金会社へ移行（会員総会や継続願い等で未加入者を取り込む） ・ゆうちょ銀行による自動引落も同様に勧誘 ・手数料の高い集金会社に未移行者 8 名に対して移行を願う うち転居先不明者の行方を追う ②インターネット募金の利用 ・GiveOne（運営：公益財団法人パブリックリソース財団） ・その他のインターネット募金やインターネット広告を実施 Facebook 広告、グーグル広告の利用などの検討 （NPO 無料または低価格広告の利用） ③認定 NPO 法人取得 ・申請に向けた会計不備等のアドバイスを公認会計士から受ける ・職務規定や労務関係の整備を社会保険労務士から受ける ・知識のある方にアドバイスを頂く ⑤通信機器、情報・受信機器環境整備 ・会員管理ソフトの変更を実施
---	--	---

あなたができること

「私たちにできること」を探し続けて30年。少しでも、あなたの力を貸してください。

1. 参加する

- ボランティア
- 国内・海外インターン
- イベントや活動報告会に参加する
- プロボノ

※プロボノ/社会的な目的のため、職業上の知識経験を無報酬で提供すること

2. 現場で学ぶ

- スタディツアー、ワークキャンプ

春・夏には週間～8週間程、インドやインドネシアの国際協力の現場を訪ね、活動に参加したり見学したりすることができます。ツアーの写真や参加者の感想を、当会HPに掲載しています。

3. 会員になる

- 正会員 年会費 個人12,000円、団体20,000円
- 賛助会員 年会費 6,000円

会・金報誌「みらいの樹」(年報集)をお届けします。
員・スタディツアーや、イベント・講座等をご案内します。
特・国際協力関連の図書、資料などを閲覧できます。
典・正会員は、年会費(1回)での議決権があります。

※会員ご希望の方は、お電話またはメールにてご連絡ください。

4. 寄付する

- 郵便振替
- LIFEdirect寄付サイト

請求番号: 00180-9-400590
加入者名: 地球の友と歩む会/LIFE

● 銀行振込

銀行口座: みずほ銀行 飯田橋支店
口座番号: 普通口座 1693261
口座名義: 地球の友と歩む会

※匿名のご寄付も可能です。
※領収証の送付、会報へのお名前掲載をご希望の方は一斉お願いいたします。
※インターネット寄付も可能です。上記QRコードをご利用ください。

5,000円以上で インドネシアで野菜作りに必要な水道管50mを3Kことが出来ます。
10,000円以上で インドネシアで女性の収入向上に繋がるヤギを一頭購入できます。

地球の友と歩む会/LIFEとは

インド、インドネシアで農村開発活動に取り組むNGO

特定非営利活動法人 地球の友と歩む会/LIFEとは・・・
だれもが幸せを感じられる「平和な住みよい社会の創造」と、豊かで調和のとれた「自然環境を育むこと」を目指して、1986年に設立されました。
～水・緑・人で国際協力～をテーマに、インド・インドネシアの農村に暮らす人々の生活向上に取り組む国際協力NGOです。

スンバ島カルコ村

植林前 20年後

団体名
特定非営利活動法人 地球の友と歩む会
LIFE/Live with Friends on the Earth

所在地 〒102-0071
東京都千代田区富士見2-2-2
東京三和ビル503号
TEL 03-3261-7855
FAX 03-3261-9053
E-mail life@earth-ngo.jp
http://earth-ngo.jp/
設立年 1986年4月
理事長 向富 稔

TEL FAX
E-mail
URL
設立年
理事長

ACCESS

- JR総武線 飯田橋駅 西口より徒歩4分
- 東京メトロ東西線 飯田橋駅 A4出口より徒歩5分
- 東京メトロ 南北線、都営地下鉄 大塚・大塚駅 飯田橋駅B2a出口より徒歩5分

LIFEくん

LIFEの活動

私たちのミッション
だれもが幸せを感じられる「平和な住みよい社会の創造」と、豊かで調和のとれた「自然環境の育み」を目指します。

海外事業

インド

女性の自立支援
農村女性の貧困削減のため、女性たちを組織化し、自らの力で収入を得るための支援をしています。

水資源の保全
近年の降水量減少に伴う半乾地帯で、水資源の枯渇と土壌流出を防ぐために、雨水をうまく地下に浸透させる溝の地や堤を整備し、水資源の保全に取り組んでいます。

インドネシア

有機農業の普及
気候変動の影響で食糧化が進む農村部で、住民の生活改善につながる持続可能な有機農業を推進しています。

植林による生態系保全
近年の気候変動や森林伐採で失われた生態系を奪取するため、地域住民による植林を進めています。

国内事業

国際協力の人材育成
日本国内の学生・社会人を対象に、インド・インドネシアの国際協力の現場を訪ねるスタディツアーやワークキャンプを実施しています。現場の課題と向き合う貴重な体験に過去1500名以上が参加しています。

● スタディツアー、ワークキャンプ実施
● インターン、ボランティアの受け入れ

そこに暮らす人々の力を引き出すために

2016 年度より、広報用リーフレット(三つ折り)を刷新。

私たちの国際協力へのスタンスは・・・

その土地にあるすべての資源を生活かし、そこに暮らす人たちの能力や技術を最大限引き出すことで、彼ら自身が、課題解決に向けて主体的に参加し、自立・発展していくこと。
これが私たちの目標であり、活動姿勢です。

そして、日本でもできることはたくさんあります。途上国への理解を深めること、同じような関心を持つ仲間を増やすこと、そして、私たち自身が意識や生活を変えていくこと。
これらも大切な国際協力です。

そこに暮らす人々の力を引き出すために

2016 年度より、広報用リーフレット(三つ折り)を刷新。

◆LIFEへのご寄付の方法◆

①郵便振替
口座番号: 00180-9-400590
加入者名: 地球の友と歩む会/LIFE
※同封の振替用紙をご利用ください。

②銀行振り込み
銀行口座: みずほ銀行 飯田橋支店
口座番号: 普通口座 1693261
口座名義: 地球の友と歩む会

※ご寄付いただいた皆様には、領収書をお送りします。匿名でのお振り込みも可能です。会費と一緒に送金される場合は、郵便振替用紙に明細をご記入いただくか事務所にご連絡ください。
※ご寄付の30%は、プロジェクトを適正に運営するための運営費用として使われます。

③インターネット
クレジットカードやジャパンネット銀行から寄付ができます。各サイトからLIFEを選んでください。

■ Give One (ギブワン)
http://www.giveone.net
寄付テーマ「女性」をクリック

■ NGOアリーナ
http://www.ngo-arena.org/
寄付テーマ「農村開発」をクリック

■ イコココロ!
http://www.ekokoro.jp/
寄付テーマ「環境保全」をクリック

会員・マンスリーサポーターになってください!!
LIFEの事業が成果を得るには、何年もの月日がかかります。会員やマンスリーサポーターになることでLIFEの事業に継続的に関わることができます。詳しくは事務所までお問い合わせください。

ANNIVERSARY
SINCE 1986
30th
2016年にLIFEは、創立30周年を迎えました。

2016年度(特活) 地球の友と歩む会 LIFE
クリスマス・年末募金
ご協力をお願い

水・緑・人で国際協力。をモットーにインド、インドネシアの農村で暮らす人々の生活向上に取り組んでいます。

私たちと一しょに
農村開発活動に参加しませんか!

特定非営利活動法人
地球の友と歩む会
LIFE: Live with Friends on the Earth

〒102-0071
東京都千代田区富士見2-2-2
東京三和ビル503号
TEL: 03-3261-7855 FAX: 03-3261-9053
E-mail: life@earth-ngo.jp

LIFEは次のサイトで事業、ツアー、イベントなどの情報を発信しています。ぜひご覧ください。
ホームページURL: http://earth-ngo.jp/
ブログ: http://ameblo.jp/lifetokyo-ngo
メルマガ: http://www.mag2.com/m/0000173188.html
※メルマガに登録して頂くこと、毎月LIFEの情報がご登録のメールアドレスに届きます。

facebook: https://www.facebook.com/life.ngo
YouTube: https://www.youtube.com/channel/UCiUn-zW3Fm4TXLeAKfKrmzg/
Instagram: https://www.instagram.com/life_insta_official/

背景の柄は、スンバ島の伝統織物のイカトです。

2016年度井戸建設スンバ島ムバタフ村の子どもたち

集まったご寄付でできること

インド

有機肥料作り研修を1年間受ける
ことにより身近にある材料で肥料を作り、施肥して収穫量を上げたり、安全な野菜を作れるようになります。化学肥料や農薬を買うお金も節約できます。

3,000円: 有機肥料研修に参加できる

10,000円: ヤギを一頭買える

30,000円: ミシンを2台購入できる

インドネシア

マングローブを植林すると
沿岸の土壌が肥え、海中の根には魚介、木々には鳥などが棲みつき住民の生活向上につながる収入源となります。写真は2017年植林予定の海岸です。

1,000円: マングローブの苗木が10本買える

5,000円: 水道管を50メートル延長できる

20,000円: 中学生に有機農業勉強会を開催できる

子どもの教育費や日々の生活費、貯蓄をしていくためにも、収入向上につながる活動は有効です。仕事の合間に世話ができ、肉肉として販売することができます。また、子ヤギを育て増やしていくこともでき資産になります。

ミシンの技能訓練を6ヶ月受けることにより服飾工場から縫製加工の注文を受けて現金収入を得ることができます。また、貯蓄をしてミシンを購入すれば自宅でも家事や育児をしながら内職ができます。

2016 年度
クリスマス募金の
リーフレット
(三つ折り)